



若者に森づくりの楽しさを

一般社団法人 ブナを植える会 会長 桑田 結

私たち森林ボランティアは、ひょうごの森づくりの活性化を目指して活動を続けています。それは、森林整備であり、災害に強い森づくり、生物多様性豊かな森づくりなど、県民総参加の森づくりのリーダーとして活躍しております。その中で、環境問題の多様性から一般県民の森林への関心は年々減少しているように思います。それは加盟団体の現状にも反映されていて、会員の高齢化の中で、新入会員の減少に表れていて、多くの団体がクラブ運営に苦勞しています。このような現状から、私たちは現状に即した対応策を模索始めています。そのひとつは、私たちの作った安全な森林での環境学習の実施です。2017年に小・中学校の学習指導要項が改訂されました。その中で特に注目されるのは<地域学校協働活動>を打ち出している事です。私たちは森林分野と教育分野が連携・協力して森林を題材とした環境学習を展開したいのです。しかし、現実是非常に難しいのが実情で、お互いの接点を作るのが非常に難しいです。現在、加盟団体にアンケートを行っているのですが、その中に答えがあるかも知れません。先日<ひょうご環境担い手サミット>に参加しました。ポスター展示を行い、ファシリテーターとしてグループディスカッションの座長を務めました。去年も今年も、若い人からボランティア活動の入り口がわからないと言う意見が有りました。この辺りに私たちが今一度、努力するポイントがあるのではないのでしょうか。是非とも、若者に森づくりの楽しさを、伝えたいですね。

第3回ひょうご環境担い手サミット

あびき湿原保存会 山下 公明

12月22日(土)にデザイン・クリエイティブセンター神戸で、小学生から大学生約180名、兵庫の海、山、森等で環境保全、自然と共生を実践しているグループ約180名、計360名余りの参加があり、昨年より50名以上参加者が増え大成功でした。

当日は朝から少し雨模様の中、9時30分頃から出展者、参加者が会場入りしてパネル展示、発表の打ち合わせ等を行いました。当協議会と加盟3団体の展示場所は入口に近いところに設けられ、参加者も見学しやすかった様に思います。午前中3会場の実践発表、研究発表等聞き、自分達の活動のヒントを得た様に思います。昼食をはさみ2時過ぎまで、各ブースの展示者との意見交換、体験ブースでの物作り、観察等で和やかな雰囲気でした。

その後40近いグループに分かれ、それぞれ与えられたテーマについて、若者と年配者の意見交換を行いました。この会合の一番の目的はこのワークショップではないかと、私自身思っております。生徒、学生達が研究、実践している事柄、年配者の我々が実践、活動の話し合いの場が持てるのは凄く有意義な場であります。ワークショップも終盤になり各班の発表も積極的で盛り上がり、高校生、年配者が30年後の兵庫の自然を見据えたい会議であったと思います。

私が今回思った事は、高校、大学在学中は環境保全、環境学習に参加をするが、社会に出るとどうしても疎遠になりがちです。今後社会人、企業との連携が保全作業継続には必要ではないかと感じる次第です。来年もこの「担い手サミット」は継続されるとの事です。ボラ協のメンバーも来年はぜひ参加をして下さい。

ひょうご森のまつり2018

今年の「ひょうご森のまつり」は11月4日(日)に福崎町で開催され、天気にも恵まれ、また「福崎秋まつり」と同時開催されたこともあり、多くの出展者、来場者で賑わいました。

当協議会も例年どおり、式典における森林ボランティア活動報告、テントブースでの活動PRやクラフトコーナーの出展、里山林整備体験の指導スタッフとして参加しました。また、式典において当協議会会員の2団体「紫微嶺里山楽しむ会」と「ひょうご森の倶楽部」の奥中活動地チームが「ひょうご森づくり活動賞」の表彰を受けました。(3頁参照)

活動報告は、森林ボランティア活動の幟旗を持った会員団体のメンバーが並んだステージ上で桑田会長から県内の森林ボランティア活動を報告するとともに、多くの県民のみなさまが森づくり活動に参加されるよう呼びかけました。

テントブースでは各団体を紹介するパネルの展示やリーフレットなどの配布により活動をPRするとともに、5団体が木の枝などの森の素材を使ったクラフトコーナーを設けて、ファミリーなど来場者に森の楽しみ的一端をお伝えしました。また、緑の募金箱を置いて募金を集めました。

里山林整備体験はメイン会場(エルデホール周辺)から少し離れた福崎町青少年野外活動センターの里山で実施され、事前に申し込まれた家族や福崎町にある大学の学生など21人の除伐作業体験を当協議会メンバーが指導・サポートしました。

なお、当日の当協議会会員の参加団体、参加者数は12団体、40人でした。



活動報告



クラフトコーナー



里山林整備体験

ひょうご森の日イベント

平成17年10月に全国育樹祭が兵庫県で開催されたことを契機に、毎年10月の最終日曜日を「ひょうご森の日」と定めています。「森の日」を中心とした県下各地の森のイベントを通じ、森の良さや森林整備の重要性を多くの人に発信し、森づくりへの参画を促すことを目的に、各団体が多様な催しを開催しました。

今年は初の試みとして神戸地区代表イベントとして、10月28日(日)に神戸市と六甲山の仲間たち主催の「こうべ森の文化祭2018」(於:再度公園)にテントブース出展参加致しました。

「こうべ森の文化祭」は平成14年の六甲山緑化100周年を記念してスタート。六甲山に何らかの形で関わる多くのグループが参加し、日ごろの活動内容や活動結果を多くの人に見てもらい、もって森の大切さを知ってもらおうというものです。参加グループごとにテントブースが一つ割り当てられ、再度公園のログハウス周辺に約30のブースが展開されました。

ブース内では活動内容をパネル展示するところ、六甲山で入手した草木を木工材や食材に利用した木工品や食品等を展示販売するところ、日ごろの活動を実演したり指導体験をさせてくれるところ等々多岐に渡っていました。

当協議会は神戸地区及び六甲山関連会員が主体となって、協議会としての活動や森林ボランティア講座の紹介及び参加メンバー団体の活動紹介をパネル展示しました。

明治35年に六甲山植林事業が始まった再度公園での「ひょうご森の日イベント」に相応しく、秋晴れの好天にも恵まれて一般入場者は約2,000人となり、好評のうちに終了しました。



当協議会のテントブース

ひょうご森づくり活動賞

森づくり活動を通じて、森林・里山整備及び地域住民との交流や人材育成を推進し、緑豊かで住みよい県土づくり、「県民総参加の森づくり」に貢献した優れた団体に対し「ひょうご森づくり活動賞」を贈呈することにより、広く県民の森づくりへの参加意識の高揚を図り、さらに市民活動の輪を広げると共に地域住民、企業、行政等との活動を促進することを目的とし、平成23年9月から施行されている賞です。

平成30年度受賞団体（ボラ協関係）

しぶれ 紫微嶺里山楽しむ会（神戸市）

「楽しみながら森づくり・人づくり…そして次世代へ」、「健常者も障害もつ人も一緒にたのしめる里山」をモットーに整備を行い、車イスも通れる道づくり、落ち葉堆肥作り、ニホンミツバチ飼育、コナラ・クヌギなどを使ってのキノコ栽培、薪ストーブへの燃料提供などの活動を行っています。

昨年度は耐火煉瓦で本格的な「ピザ窯」を皆で造る一方、葉っぱから自然芳香水を抽出する「アロマウォーターづくり」や「ニホンミツバチ百花ハチミツ・シイタケの収穫」、「タケノコ掘り」などのイベントを開催し、参加者に美味しいピザやジビエカレーを提供するなど、発足当時の整備一辺倒ではなく『人が癒しと安らぎの得られる里山』へと活動の軸足を移しています。

今後も里山林・竹林の整備、5年前植樹した少花粉スギの手入れ、昨年度から着手した「車イスも通れる道」など多くの作業を継続していきます。



奥中むらづくり協議会・NPO法人ひょうご森の倶楽部奥中活動地チーム（多可町）

この度2団体連名で受賞いただきとても嬉しく思います。「奥中むらづくり協議会」は村役員、長寿会、子供会、農会、女性部、消防団、厚生部、宮の當委員、里山保全会など集落全体でむらづくりに取り組んでいる組織で2000年4月に発足。以降今日まで「ひょうご森の倶楽部」と協力して豊かな里山の自然を再生・保全し、子孫に伝えることを目指し、地元の「観音の森」の整備、保全活動を行ってまいりました。

2011年から3年間、地元の「小丸山」に桜の苗木140本を植樹、2014年には「里山保全会」を立ち上げ、「小丸山」に住民参画型事業として危険箇所の木柵工事や「ひょうご森の倶楽部」と合同で桜の苗木50本を植樹しました。桜とコバノミツバツツジの見ごろは4月上旬です。

7月上旬には伝統文化行事の「奥中稲の虫送り」、元旦には「観音の森ご来光登山」、お雑煮会食等々を行っています。かけがえのない観音の森の資源を大切に守り、自然と共生する生活を通し「住んで良かったこの村に！」を目指し今後も活動してまいりたいと願っています。



森づくりに貢献のあった団体・個人が次の賞を受賞されました。（敬称略）

環境大臣表彰：コミュニティひばり環境部会（北雲雀きずきの森きずな会）

県功労者表彰：辻本 哲（川西里山クラブ）

環境保全功労者知事表彰：溪のサクラを守る会

全国育樹活動コンクール 国土緑化推進機構理事長賞：神戸学園都市高塚山を愛する会

さくら功労者：フォレスター松寿、菊炭友の会

「手づくり郷土賞グランプリ2017」国土交通大臣表彰：よこおみち森もりの会

林業関係広報コンクール最優秀賞（林野庁長官賞）：ひょうご森の倶楽部

平成 30 年度の活動

- 1 会員相互の情報の交換と交流
- 2 会員の活動に関する広報
- 3 森林ボランティア活動に関する情報の収集及び提供
- 4 森林ボランティア活動の普及啓発
ひょうご森のまつり（2 頁参照）、ひょうご環境担い手サミット（1 頁参照）への参画
- 5 「緑の募金」に協力
各団体で取り組むほか、ひょうご森のまつりブースでの木工等体験料を募金した。
- 6 環境学習・教育への積極的な取り組み、その支援の検討
- 7 県政を知る 伐採木、バイオマス事業、少花粉スギの育成など

会員の動き（現在の加盟団体：59 団体）

◆退会 6 団体

- H30. 5 きすみの森林ボランティア（小野市）
H30. 10 森林ボランティアふじわら山クラブ（神戸市）
里山工房（里山遊び研究会）（三田市）
H30. 11 豊かな心いぼがわ 21 会（たつの市）
里山倶楽部緑台（神戸市）
白雲山ふれあい森づくり実行委員会（豊岡市）

◆入会 4 団体

- H30. 4 ほくら〜ととや森の世話人倶楽部（神戸市）
中谷森林山村守る会（小野市）
H30. 5 獅子ヶ池を美しくする会（神戸市）
ゆめほたるクラブ（川西市）

兵庫県ボランティア活動等災害共済における チェーンソーを使用する森林ボランティア活動について

多くの方が加入されている兵庫県ボランティア活動等災害共済（いわゆるボランティア保険）で補償対象外となる活動に「チェーンソーを使用する森林ボランティア活動」がありますが、これは**チェーンソーを使用する森林ボランティア活動全体が補償対象外**ということなのでご承知ください。

すなわち、チェーンソーを使用した本人のケガ、チェーンソーを使用した人から被ったケガだけが対象外ではなく、チェーンソーを使用した人がいた同日・同場所での活動中（活動行程が複数日に及ぶケースはその全体）に発生した事故は全て補償対象外ということであり、例えばチェーンソーを使用しない人が下山中に転んで骨折した場合も対象外です。

詳しくは（株）兵庫福祉保険サービスに確認ください。
（TEL 078-735-0166）

事務局からのお知らせ

メールで助成金やセミナーなどの情報提供をしています。

未登録の団体で、希望される場合は以下のメールアドレスまでご連絡ください。

（担当：豊かな森づくり課 樋口）

yutakanamorizukuri@pref.hyogo.lg.jp



緑の募金

「緑の募金」にご協力ください！

公益社団法人兵庫県緑化推進協会

森や緑は私たちの暮らしに限りない恵みをもたらし、豊かな地球環境を残してくれています。

このかけがえのない森と緑を守り育てていくために、「緑の募金」として家庭募金、学校募金、職場募金、街頭募金、団体募金、企業募金を県下各地で行っています。

<http://www.hyogo-green.net/>

なお、兵庫県森林ボランティア団体連絡協議会からの平成 30 年 1～12 月の募金額は¥91,801-でした。

郵便振込

手数料が不要になる専用の払込取扱票用紙をお送りしますので、（公社）兵庫県緑化推進協会へ直接お問い合わせください。

銀行振込

口座：三井住友銀行兵庫県庁出張所
普通 3198438（振込手数料が必要）
名義：公益社団法人 兵庫県緑化推進協会
問合せ：TEL 078(341)4070 FAX 078(341)4071

事務局 兵庫県森林ボランティア団体連絡協議会

〒650-8567 神戸市中央区下山手通 5 丁目 10 番 1 号

兵庫県農政環境部農林水産局豊かな森づくり課内

TEL 078-362-3613

FAX 078-362-3954

会報に関する問い合わせ：桑田 結

〒657-0011 神戸市灘区鶴甲 3 丁目 5 番 29-106

Tel/Fax 078-851-0291

携帯 090-3166-9785

E-mail bunawouerukai.kobe@gmail.com

